

授業科目	<b>特別学修（測量士試験）</b>				
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	特別学修選択（専門）・4単位		
受講年科・学期	環境都市工学科1～5年・通年	授業形態	資格試験		
キーワード	測量、空間情報				
関連科目	測量学Ⅰ～Ⅳ、測量実習A～C、空間情報工学など				
担当教員	島崎彦人				
連絡先（オフィスアワー）	shimazaki@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）				
教科書					
補助教科書等					
参考図書					
プログラム目標					
達成目標（合格点）		各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）			
・測量士試験について、計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する。		担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し、測量士試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること。</li> <li>・測量士試験が実施されるまでに、指定された時間数の自学自習に計画的に取り組むこと。</li> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修報告書を作成すること。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>				
授業計画					
項目	学習内容等				
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示</li> <li>・指導を受けて、学修計画書を作成する。</li> <li>・測量士試験について、指定された時間数の自学自習に取り組み、自ら試験に申し込み受験する。</li> <li>・担当教員の指示・指導を受けて、学修報告書を作成する。</li> </ul>				
成績の算出方法	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し、測量士試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。				

授業科目	<b>特別学修（測量士補試験）</b>				
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	特別学修選択（専門）・2単位		
受講年科・学期	環境都市工学科1～5年・通年	授業形態	資格試験		
キーワード	測量、空間情報				
関連科目	測量学I～IV、測量実習A～C、空間情報工学など				
担当教員	島崎彦人				
連絡先（オフィスアワー）	shimazaki@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）				
教科書					
補助教科書等					
参考図書					
プログラム目標					
達成目標（合格点）		各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）			
・測量士補試験について、計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する。		担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し、測量士補試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること。</li> <li>・測量士補試験が実施されるまでに、指定された時間数の自学自習に計画的に取り組むこと。</li> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修報告書を作成すること。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>				
授業計画					
項目	学習内容等				
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受けて、学修計画書を作成する。</li> <li>・測量士補試験について、指定された時間数の自学自習に取り組み、自ら試験に申し込み受験する。</li> <li>・担当教員の指示・指導を受けて、学修報告書を作成する。</li> </ul>				
合計授業時間数（定期試験は除く）					
成績の算出方法	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し、測量士補試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。				

授業科目	特別学修（基礎製図検定試験）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	特別学修選択（専門）・1単位
受講年科・学期	環境都市工学科1～5年・通年	授業形態	資格試験
キーワード	製図、測量、空間情報		
関連科目	技術者入門Ⅰ～Ⅱ、測量学Ⅰ～Ⅳ、測量実習A～C、空間情報工学など		
担当教員	島崎彦人		
連絡先（オフィスアワー）	shimazaki@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書			
補助教科書等			
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
・基礎製図検定試験について、計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する。	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し、基礎製図検定試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること。</li> <li>・基礎製図検定試験が実施されるまでに、指定された時間数の自学自習に計画的に取り組むこと。</li> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修報告書を作成すること。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受けて、学修計画書を作成する。</li> <li>・基礎製図検定試験について、指定された時間数の自学自習に取り組み、試験を受験する。</li> <li>・担当教員の指示・指導を受けて、学修報告書を作成する。</li> </ul>		
成績の算出方法	担当教員が指定した学習計画書および学修報告書を提出し、基礎製図検定試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		

授業科目	特別学修（情報検定情報システム基本スキル）				
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・1単位		
受講年科・学期	環境都市工学科1～5年・通年	授業形態	資格試験		
キーワード	情報、				
関連科目	情報処理入門、プログラム演習など				
担当教員	原田健二				
連絡先（オフィスアワー）	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない、いつでも来室可）				
教科書					
補助教科書等					
参考図書					
プログラム目標					
達成目標（合格点）		各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）			
・情報検定（J検）情報システム試験基本スキルについて計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する		合格したものについて、評定「A」を認定する（100%）			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること</li> <li>・試験が実施されるまで、指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>				
授業計画					
項目	学習内容等				
・学修計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示</li> <li>・指導を受け学修計画書を作成する</li> </ul>				
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報検定（J検）情報システム試験基本スキルについて指定された時間数の自学自習を行い、自ら試験に申し込みし受験する。</li> </ul>				
・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>				
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて、評定「A」を認定する（100%）				

授業科目	特別学修（情報検定情報システムプログラミングスキル）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・1単位
受講年科・学期	環境都市工学科1～5年・通年	授業形態	資格試験
キーワード	情報、		
関連科目	情報処理入門、プログラム演習など		
担当教員	原田健二		
連絡先（オフィス・アワー）	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない、いつでも来室可）		
教科書			
補助教科書等			
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
・情報検定（J検）情報システム試験プログラミングスキルについて計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する	合格したものについて、評定「A」を認定する（100%）		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること</li> <li>・試験が実施されるまで、指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	・担当教員の指示・指導を受け学修計画書を作成する		
・自学自習	・情報検定（J検）情報システム試験プログラミングスキルについて指定された時間数の自学自習を行い、自ら試験に申し込み受験する。		
・まとめ	・まとめ		
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて、評定「A」を認定する（100%）		

授業科目	特別学修（情報検定情報システムデザインスキル）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・1単位
受講年科・学期	環境都市工学科1～5年・通年	授業形態	資格試験
キーワード	情報、		
関連科目	情報処理入門、プログラム演習など		
担当教員	原田健二		
連絡先（オフィス・アワー）	harada@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない、いつでも来室可）		
教科書			
補助教科書等			
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
・情報検定（J検）情報システム試験デザインスキルについて計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する	合格したものについて、評定「A」を認定する（100%）		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること</li> <li>・試験が実施されるまで、指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	・担当教員の指示・指導を受け学修計画書を作成する		
・自学自習	・情報検定（J検）情報システム試験デザインスキルについて指定された時間数の自学自習を行い、自ら試験に申し込み受験する。		
・まとめ	・まとめ		
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて、評定「A」を認定する（100%）		

授業科目	特別学修（情報検定：情報デザイン初級）				
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択(専門)・1単位		
受講年科・学期	環境都市工学科1~5年・通年	授業形態	資格試験		
キーワード	情報、				
関連科目	情報処理入門、プログラム演習など				
担当教員	原田健二				
連絡先(オフィスアワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp (オフィスアワーは特に定めない、いつでも来室可)				
教科書					
補助教科書等					
参考図書					
プログラム目標					
達成目標(合格点)		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合/重み)			
・情報検定(J検) 情報デザイン試験初級について計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する		合格したものについて、評定「A」を認定する(100%)			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること</li> <li>・試験が実施されるまで、指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>				
授業計画					
項目	学習内容等				
・学修計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示</li> <li>・指導を受け学修計画書を作成する</li> </ul>				
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報検定(J検) 情報デザイン試験初級について指定された時間数の自学自習を行い、自ら試験に申し込み受験する。</li> </ul>				
・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>				
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて、評定「A」を認定する(100%)				

授業科目	特別学修（情報検定：情報デザイン上級）				
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択(専門)・1単位		
受講年科・学期	環境都市工学科1~5年・通年	授業形態	資格試験		
キーワード	情報、				
関連科目	情報処理入門、プログラム演習など				
担当教員	原田健二				
連絡先(オフィスアワー)	harada@c.kisarazu.ac.jp (オフィスアワーは特に定めない、いつでも来室可)				
教科書					
補助教科書等					
参考図書					
プログラム目標					
達成目標(合格点)		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合/重み)			
・情報検定(J検) 情報デザイン試験上級について計画的に自学自習に取り組み、試験に合格する		合格したものについて、評定「A」を認定する(100%)			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け、学修計画書を作成すること</li> <li>・試験が実施されるまで、指定された時間数の自学自習を計画的に取り組むこと。</li> <li>・単位数×30時間以上の自学自習が必要である。</li> </ul>				
授業計画					
項目	学習内容等				
・学修計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の指示・指導を受け学修計画書を作成する</li> </ul>				
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報検定(J検) 情報デザイン試験上級について指定された時間数の自学自習を行い、自ら試験に申し込みし受験する。</li> </ul>				
・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>				
成績の算出方法	各種試験・検定に合格したものについて、評定「A」を認定する(100%)				

授業科目	特別学修（2級ビオトープ計画管理士試験）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	特別学修選択（専門）・1単位
受講年科・学期	1~5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	ビオトープ、生態学、保全生態学、環境関連法、都市・農村・地域計画		
関連科目	ライザインス・アーサインス、水域システム工学、生態環境工学		
担当教員	湯谷 賢太郎		
連絡先（オフィス・アリー）	yutani@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	日本生態系協会（監修）『改訂版】ビオトープ管理士資格試験 公式テキスト—2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本能率協会マネジメントセンター、2018年、3,080円。		
補助教科書等	各自で考えて選択すること		
参考図書	<p>自分で判断して選択することが望ましいが、学習の助けとなる参考書を幾つか列挙します。情報が古い本も含まれていますが、当該分野の考え方を理解するには十分です。</p> <p>【総合的な学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本生態系協会『環境を守る最新知識（第2版）』信山社サイテック、2006年、2,310円</li> </ul> <p>【生態学の学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島次郎『トマトはなぜ赤い』東洋館出版社、1992年、2,563円</li> <li>・日本生態学会（第2版）『生態学入門』東京化学同人、2012年、3,080円</li> <li>・E. P. オダム『基礎生態学』培風館、1991年、5060円</li> </ul> <p>【ビオトープ論の学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーゼフ・ブラー『ビオトープの基礎知識』日本生態系協会、1997年、1540円</li> <li>・小杉山晃一『ビオトープブック』学報社、2009年、2100円</li> </ul> <p>【環境関連法の学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿部泰隆、淡路剛久『環境法 第4版』有斐閣ブックス、2011年、3,520円</li> <li>・木呂子豊彦、小杉山晃一『ビオトープブック 2』学報社、2010年、2,200円</li> </ul> <p>【ビオトープ計画に関する学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新里達也、佐藤正孝『野生生物保全技術 第2版』海游舎、2007年、5,060円</li> <li>・鷲谷いづみ、矢原徹一『保全生態学入門』文一総合出版、1996年、3,300円</li> </ul>		
プログラム目標	関連無し		
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
・2級ビオトープ計画管理士試験について、学修計画にそって学修し、2級ビオトープ計画管理士試験に合格する。	2級ビオトープ計画管理士試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、担当教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・2級ビオトープ計画管理士試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。</li> <li>・30時間以上の自学自習が必要である。</li> <li>・例年、試験の申し込みは6~9月、合格発表が2月末である。受験年度の単位認定が間に合わない場合は翌年度の認定となるので注意すること。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	担当教員の指示・指導を受け学修計画を作成する。		
・自学自習	2級ビオトープ計画管理士試験について、指定された時間数の自学自習を行う。		
・まとめ	まとめ		
成績の算出方法	2級ビオトープ計画管理士試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		

授業科目	特別学修（2級ビオトープ施工管理士試験）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	特別学修選択（専門）・1単位
受講年科・学期	1～5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	ビオトープ、生態学、保全生態学、環境関連法、土木・造園（河川、海岸、海岸、里山、等）		
関連科目	ライザイエンス・アースサイエンス、水域システム工学、生態環境工学		
担当教員	湯谷 賢太郎		
連絡先（オフィス・アリー）	yutani@c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	日本生態系協会（監修）『改訂版】ビオトープ管理士資格試験 公式テキスト—2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本能率協会マネジメントセンター、2018年、3,080円。		
補助教科書等	各自で考えて選択すること		
参考図書	<p>自分で判断して選択することが望ましいが、学習の助けとなる参考書を幾つか列挙します。情報が古い本も含まれていますが、当該分野の考え方を理解するには十分です。</p> <p>【総合的な学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本生態系協会『環境を守る最新知識（第2版）』信山社サイテック、2006年、2,310円</li> </ul> <p>【生態学の学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島次郎『トマトはなぜ赤い』東洋館出版社、1992年、2,563円</li> <li>・日本生態学会（第2版）『生態学入門』東京化学同人、2012年、3,080円</li> <li>・E. P. オダム『基礎生態学』培風館、1991年、5060円</li> </ul> <p>【ビオトープ論の学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーゼフ・ブラー『ビオトープの基礎知識』日本生態系協会、1997年、1540円</li> <li>・小杉山晃一『ビオトープブック』学報社、2009年、2100円</li> </ul> <p>【環境関連法の学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿部泰隆、淡路剛久『環境法 第4版』有斐閣ブックス、2011年、3,520円</li> <li>・木呂子豊彦、小杉山晃一『ビオトープブック 2』学報社、2010年、2,200円</li> </ul> <p>【ビオトープ施工に関する学修向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新里達也、佐藤正孝『野生生物保全技術 第2版』海游舎、2007年、5,060円</li> <li>・養父志乃夫『ビオトープ再生技術入門』農文協、2006年、2,305円</li> <li>・養父志乃夫『自然生態修復工学入門』農文協、2002年、2,934円</li> <li>・井手久登、亀山章『緑地生態学』朝倉書店、1993年、4,620円</li> <li>・玉井信行、水野信彦、中村俊六『河川生態環境工学』東京大学出版会、1993年、4,180円</li> <li>・岩崎哲也『都市の樹木433（ポケット図鑑）』2012年、1,320円</li> </ul>		
プログラム目標	関連無し		
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
・2級ビオトープ施工管理士試験について、学修計画にそって学修し、2級ビオトープ施工管理士試験に合格する。	2級ビオトープ施工管理士試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、担当教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・2級ビオトープ施工管理士試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。</li> <li>・30時間以上の自学自習が必要である。</li> <li>・例年、試験の申し込みは6～9月、合格発表が2月末である。受験年度の単位認定が間に合わない場合は翌年度の認定となるので注意すること。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	担当教員の指示・指導を受け学修計画を作成する。		
・自学自習	級ビオトープ施工管理士試験について、指定された時間数の自学自習を行う。		
・まとめ	まとめ		
成績の算出方法	2級ビオトープ施工管理士試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		

授業科目	特別学修（公害防止管理者1種）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・3単位
受講年科・学期	1~5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	公害 水環境 排水処理		
関連科目	水環境工学 上下水道工学		
担当教員	上村繁樹		
連絡先（オフィス・アリー）	uemura@wangan.c.kisarazu.ac.jp（オフィスアリーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	大学土木 水環境工学 (ISBN-13 : 978-4274215254)		
補助教科書等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集 (ISBN-13 : 978-4873619972)		
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)		
・公害防止管理者1種試験について、学修計画にそって学修し、公害防止管理者1種試験に合格する。	公害防止管理者1種試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、窓口教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・公害防止管理者1種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習すること。</li> <li>・単位数×30時間以上自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	・窓口教員の指示・指導を受け学修計画を作成する。		
・自学自習	・公害防止管理者1種について、指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による。）		
・まとめ	・まとめ		
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）		

授業科目	特別学修（公害防止管理者2種）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・1単位
受講年科・学期	1～5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	公害 水環境 排水処理		
関連科目	水環境工学 上下水道工学		
担当教員	上村繁樹		
連絡先（オフィス・アリー）	uemura@wangan.c.kisarazu.ac.jp（オフィスアリーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	大学土木 水環境工学（ISBN-13：978-4274215254）		
補助教科書等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集（ISBN-13：978-4873619972）		
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
公害防止管理者2種について、学修計画にそって学習し 公害防止管理者2種試験に合格する。	公害防止管理者2種試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、窓口教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・公害防止管理者2種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習すること。</li> <li>・単位数×30時間以上自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓・口教員の指示</li> <li>・指導を受け学修計画を作成する。</li> </ul>		
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止管理者2種試験について、指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による。）</li> </ul>		
・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>		
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）		

授業科目	特別学修（公害防止管理者3種）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・2単位
受講年科・学期	1~5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	公害 水環境 排水処理		
関連科目	水環境工学 上下水道工学		
担当教員	上村繁樹		
連絡先（オフィス・アリー）	uemura@wangan.c.kisarazu.ac.jp（オフィスアリーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	大学土木 水環境工学（ISBN-13：978-4274215254）		
補助教科書等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集（ISBN-13：978-4873619972）		
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
公害防止管理者3種試験について、学修計画にそって学習し各試験に合格する。	公害防止管理者3種試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、窓口教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・公害防止管理者3種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習すること。</li> <li>・単位数×30時間以上自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口教員の指示・指導を受け学修計画を作成する。</li> </ul>		
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止管理者3種試験について、指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による。）</li> </ul>		
・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>		
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）		

授業科目	特別学修（公害防止管理者4種）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・1単位
受講年科・学期	1~5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	公害 水環境 排水処理		
関連科目	水環境工学 上下水道工学		
担当教員	上村繁樹		
連絡先（オフィスアワー）	uemura@wangan.c.kisarazu.ac.jp（オフィスアワーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	大学土木 水環境工学 (ISBN-13: 978-4274215254)		
補助教科書等	公害防止管理者試験 水質関係 攻略問題集 (ISBN-13: 978-4873619972)		
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準(評価の割合／重み)		
公害防止管理者4種試験について、学修計画にそって学習し各試験に合格する。	公害防止管理者4種試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、窓口教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・公害防止管理者4種試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習すること。</li> <li>・単位数×30時間以上自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口教員の指示</li> <li>・指導を受け学修計画を作成する。</li> </ul>		
・自学自習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止管理者4種試験について、指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による。）</li> </ul>		
・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> </ul>		
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）		

授業科目	特別学修（環境社会検定：eco検定）		
開設学科系	環境都市工学科	区分・単位数	選択（専門）・1単位
受講年科・学期	1~5年通年	授業形態	資格試験
キーワード	地球環境 廃棄物 SDGs		
関連科目	環境概論		
担当教員	上村繁樹		
連絡先（オフィス・アリー）	uemura@wangan.c.kisarazu.ac.jp（オフィスアリーは特に定めない。いつでも来室可）		
教科書	環境科学入門（ISBN-10：4873619971）		
補助教科書等	環境社会検定試験eco検定公式過去・模擬問題集（ISBN-13：978-4820728832）		
参考図書			
プログラム目標			
達成目標（合格点）	各達成目標の評価方法と基準（評価の割合／重み）		
環境社会検定試験について、学修計画にそって学習し各試験に合格する。	環境社会検定試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修計画を作成し、窓口教員の指示・指導を受けること。</li> <li>・環境社会検定試験が実施されるまでに計画的に指定された時間数の自学自習をすること。</li> <li>・単位数×30時間以上自学自習が必要である。</li> </ul>		
授業計画			
項目	学習内容等		
・学修計画の作成	・窓口教員の指示・指導を受け学修計画を作成する。		
・自学自習	・環境社会検定資格試験について、指定された時間数の自学自習を行う。（時間数は認定される単位数による。）		
・まとめ	・まとめ		
成績の算出方法	各種検定/資格試験に合格した者について、評定「A」を認定する（100%）		